

議会運営委員会行政視察（概要）

1 視察日

令和5年11月7日（火）～8日（水）

2 視察項目（視察都市）

- ・ 議場会議システム及び議会運営について（一宮市）
- ・ 議会活性化への取組及び議会運営について（豊田市）

3 参加委員

委員長：上田 光夫 副委員長：西本 睦子

委員：大嶺 さやか、岡本 吉郎、坂口 康博、長谷川 浩

議長：下野 巖 副議長：安孫子 浩子

4 調査概要

一宮市の議場及び委員会室の会議システムは、平成26年に竣工した新庁舎の建設に伴い整備された。議場内に200インチの大型スクリーンを設置し、傍聴席から質問者や説明資料を見やすくするなど「会議の見える化」の推進が図られている。また、電子採決システムも導入されており、議員の表決内容が傍聴者からも確認できるようになっている。



豊田市では、平成21年に制定した豊田市議会基本条例第15条の規定に基づき、市民に分かりやすい開かれた議会の実現を目指すため、年4回、地域自治体単位で「地域市議会報告会」を平成28年まで実施したが、参加者の減少や意見交換の在り方が課題として挙げられ、平成29年からは、関係団体と意見交換を行う「市議会報告会」として実施している。

5 委員長所感

一宮市では、議場の大型スクリーンを活用して、議員が質問時に写真やグラフ等を示しながら質疑する状況を確認することができた。この設備は、新庁舎建設の際に導入したものであり、本市で導入するには多額の予算が必要になることが考えられる。また、自席答弁時のカメラワークも確認し、カメラの移動速度等、本市で実施する際の参考となった。

豊田市においては、議会基本条例の制定以降様々な議会活性化の取組が進められてきた中で、令和2年に58万円の予算を確保し、市民意識調査を実施した。この調査は、これまでの施策の評価及び今後の取組を考える上で、有効な情報になる。本市では未実施のため、検討する意義は大きいと考えている。また、常任委員会主催の市民シンポジウムは、令和4年度の予算額約44万円で参加者170人と、費用対効果の面、議会からの広報の面からも効果的な取組であると感じた。